

# 新制度卒業生の動向並びに 看護学校の沿革概要について

看護学校教務

小野 妙子 横山 洋美  
藤沢 照子 中村 茂子  
小林 順子

## 発表順序

I はじめに

II 調査方法

III 結果

IV 考察

V おわりに

## I はじめに

信州大学医療技術短期大学部設置を間近にひかえ、当校が発展的解消をするに際し、昭和4年に松本市立病院附属看護婦講習所の開設から現在まで44年にわたる歴史を綴る必要性を、数年来職務にたずさわる者の責務であると痛感し、看護学校の沿革史作成を目ざし昨年より資料収集を進めてまいりました。今回、その一部、沿革概要及び新制度卒業生の現在の就業状況、最近10年間の卒業生の卒業3年間の動向等について調査した結果を報告いたします。

## II 調査方法

### 1. 調査項目の決定

(1) 沿革概要

(2) 歴代学校長 教務主任

(3) 歴代医学部長 病院長

(4) 専任教官の動向

(5) 組織図

(6) 諸規則

(7) 学校の位置

(8) 設備・備品・図書

(9) 実習病院について(科・ベット数・看護婦数・他)

(10) 教育課程

(11) 見学施設

(12) 大学附属学校会議・看護教育研究会

(13) ○入学・卒業・進学・就職

(14) ○退学・休学・国家試験合格率

(15) 通学生の状況

以上の中より○印の項目についてのみ報告いたします。

## 2. 調査方法

(1) 創立当初からの諸綴より抜粋

(2) 卒業生からの情報提供—これは院内卒業生からの聴取・手紙・電話等による。

## III 結果

### 1. 沿革史概要

S 4. 4 ・松本市立病院附属看護婦講習所開設 定員20名

・昭和5年～13年までは隔年募集

S 20. 6 ・松本医学専門学校附属医院看護婦講習所と改称

(松本市立病院が松本医学専門学校附属医院へ移管の為)

・入所資格は国民学校高等科卒業又は高等女学校2年修業以上の学力を有する者

・修業年限は2ケ年

・卒業後は県知事より看護婦免許授与

・卒業後2ケ年の義務有り

・全寮制

・文具・書籍・食費・寝具共自弁

S 24. 4.1 ・松本医科大学附属病院厚生女学部を設置

(S 23.7.30「保健婦・助産婦・看護婦法」の制定に伴う教育制度改正の為)-----新制度の発足

・入学資格は高等女学校あるいは新制高等学校卒業生及び旧看護婦規則による看護婦免許を受けた者(当分の間)

・修業年限3ケ年 定員20名

・卒業後は甲種看護婦国家試験受験資格が与えられる。

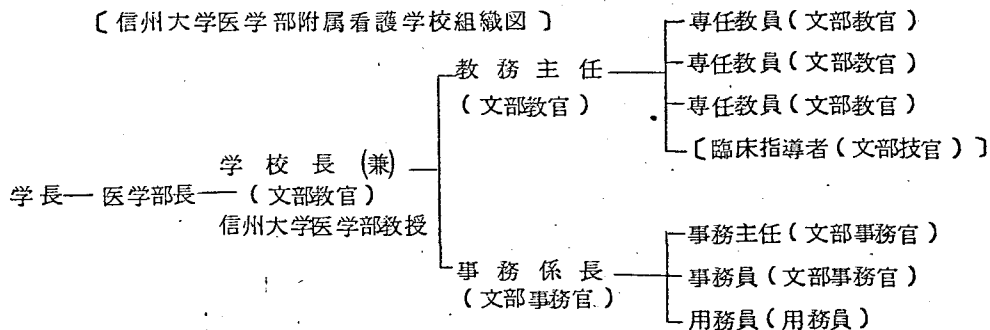
・全寮制で食事支給、月800円の手当支給(S33まで)

S 25. 1 ・看護婦養成所審議会より指摘され教務主任が医師から婦長に交替

4.17 ・信州大学医学部甲種看護婦養成所として指定される。

- 5.1 ・養成所・寮共に旭町の医学部教室の一部に移転し、施設の管理、医学部に  
変更
- S 2 5.1 0 ・6ヶ月の予科期間終了後戴帽式举行（第一回）
- S 2 6.3.2 5 ・松本医学専門学校附属医院看護婦講習所が第17回卒業式を以って閉所される。
- 4. 1 ・信州大学医学部附属看護学校と改称
- S 3 0. 4. ・P. T. Aの誕生
- S 3 1. 4. ・第8回入学生より卒業後1ケ年の勤務を義務づけられる。  
・定員30名となる
- S 3 2.7.1 1 ・看護学校運営協議会が組織される。
- S 3 4.4. 1 ・寮の舎監制を廃止し専任講師による当直制に変更・10月現在の寮へ移転  
・第11回入学生より卒業後の義務を廃止
- S 3 5.9. 9 ・看護学校運営協議会を看護学校運営委員会と改称
- S 3 6.3. 8 ・医学部教室の一部（旧兵舎）より校舎独立し、一昨年まで使用の旧校舎に  
移転
- S 3 7. 4. ・第14回入学生より再び卒業後の勤務を義務づけられる（1ケ年）
- 1 2.1 ・自治寮となり寮当直制廃止  
・通学許可  
・30年より続いたP. T. Aが解散される。
- S 4 1. 4. ・第18回入学生より、又卒業後の義務が廃止される。
- S 4 3.4. 1 ・S 4 2.1 1.1 に指定規則が改正され20回生より新教育課程が実施される。
- S 4 4. 4. ・定員50名となる
- S 4 6. 9 ・戴帽式廃止
- S S 4 7.3.2 0 ・現在の校舎に移転
- 4. 1 ・医療技術短期大学部設置運動開始

〔信州大学医学部附属看護学校組織図〕



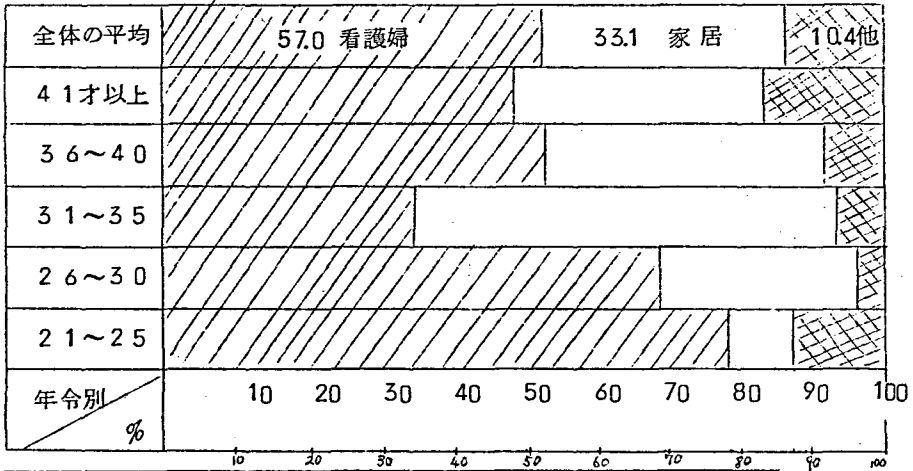
入学及び卒業時の状況

入学 年次	回生	志願 者数	受験 者数	合格 者数	倍率	入学 者数	卒業 者数	退学 者数	休学 者数	保健 学校	婦 学 校	助産 学 校	養護 教 諭 学 校	信大 病 院	県内 他院	県外	保健 所	学校	その他	不明	自宅	国家 試験 合格 率(%)	不合 格者
24	1	24	24	15	1.6%	15	15			1(7)				6(4)	3(20)	3(20)		2(13)				100	
25	2	47	44	17	2.6	15	14		1	4(26)					1(7)	1(7)		6(43)		各%	各%	93	1
26	3	27	23	15	1.5	14	14							2(14)	4(28)	2(14)		6(43)				86	2
27	4	39	39	15	2.6	15	15			2(13)				1(7)				11(73)		1(7)		100	
28	5	54	52	14	3.7	15	14		1	2(14)				9(64)		1(7)		1(7)		1(7)		86	2
29	6	113	90	19	4.7	18	19			5(26)				10(53)			2(11)	2(11)				94	1
30	7	131	112	21	5.3	21	21			7(33)				13(62)	1(5)							95	1
31	8	88	79	30	2.6	29	29							29(100)								100	
32	9	150	139	30	4.6	29	29							29(100)								100	
33	10	128	115	30	3.8	28	27	1						27(100)								100	
34	11	182	127	30	4.2	28	27			3(11)				12(44)	3(11)	8(30)					1(4)	100	
35	12	123	81	30	2.7	27	28		1	2(7)				18(64)		7(25)				1(3)		100	
36	13	67	67	28	2.4	25	20	4	1	5(20)				13(52)	2(10)							95	1
37	14	57	57	33	1.7	27	28		1					28(100)								100	
38	15	134	81	42	1.9	38	31	6	1					31(100)								94	2
39	16	83	38	26	1.5	26	27	1						26(96)							1(4)	96	1
40	17	63	61	41	1.5	32	29	3			1(3)			27(93)							1(3)	100	
41	18	180	170	45	3.8	40	36	3	1	1(3)				29(87)		6(17)						100	
42	19	236	219	35	6.3	30	27	3		3(11)				19(70)	1(4)	3(11)					1(4)	100	
43	20	141	136	33	4.1	32	31	1		3(10)	2(6)		%	16(52)	5(26)	5(16)						100	
44	21	122	116	36	3.2	36	35	1		6(17)	1(3)	1(3)		24(66)		3(9)						97	1
45	22	97	95	50	1.9	40	38	2		7(18)	5(13)			17(45)	1(3)	7(18)			1(3)			100	
46	23	72	65	50	1.3	42		(3)															
47	24	137	131	51	2.6	37																	
48	25	125	115	51	2.3	39		(1)															

2. 新制度卒業生の動向について

(1) 年代別就業状況 表1及び図表1を参照

図表1



表I  
(48.9.20  
現在)

就業別 年齢別(人数)%	在職	家居	その他	合計
41才~	(14) 48.3	(10) 34.5	(5) 17.2	29
36~40	(40) 54.2	(32) 38.6	(7) 8.4	83
31~35	(53) 37.8	(77) 55.0	(10) 7.1	140
26~30	(92) 68.2	(38) 28.1	(5) 3.7	135
21~25	(127) 76.4	(17) 10.2	(23) 13.8	167
平均	57.0	33.3	10.4	554

卒業生全体をみると約60%の者が就業している。年代別にみると、21才~25才までが76.4%、26才~30才までは68.2%とこの年代は約7割~8割の者が就業している。この実態より卒業後8年位勤続が可能である事が伺える。次に、31才~35才までは37.8%と最も低い就業率で、これは育児に手がかかる時期の為と思われる。其の他で21才~25才までの13.8%の内訳をみると、進学及び看護関係以外に、保母・劇団員・海外生活者等がみられ、これは若い世代の特徴と思われる。尚41才以上に於いて其の他が17.2%と高いのは不明者が多い為である。

図表2

(2) 職種別就業状況

表2及び図表2を参照

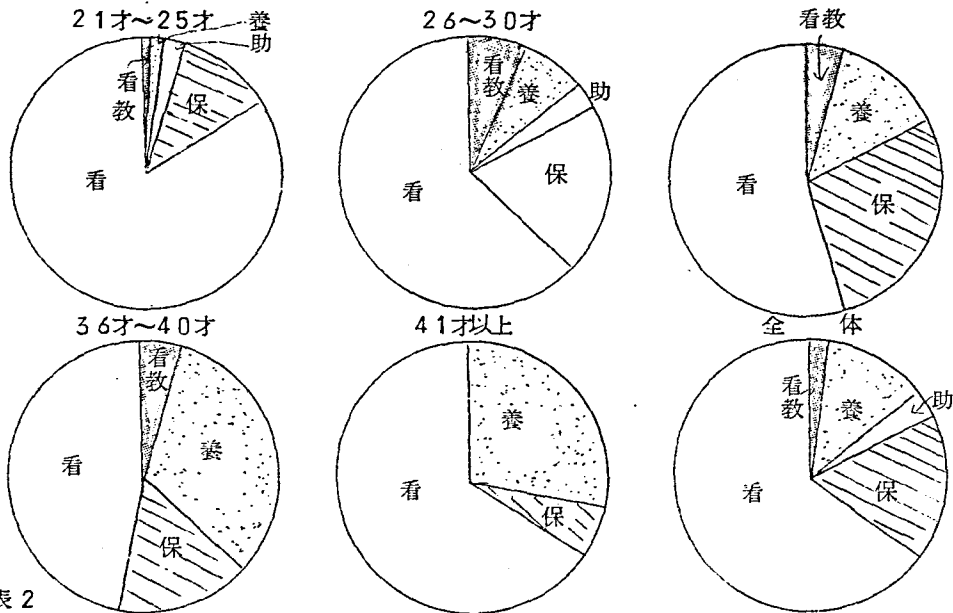


表2

(48,920  
現在)

	看護婦	保健婦	助産婦	養護教諭	看護学校	就職者
41~	( 9 ) 64.3	( 1 ) 7.1	/	( 4 ) 28.6	/	14
36~40	( 21 ) 47.7	( 8 ) 18.2	/	(14) 31.8	( 1 ) 2.3	44
31~35	( 28 ) 52.8	(15) 28.3	/	( 8 ) 15.1	( 2 ) 3.8	53
26~30	( 60 ) 65.3	(16) 17.5	(2) 2.2	( 9 ) 9.6	( 5 ) 5.4	92
21~25	(107) 82.9	(16) 12.5	(4) 3.2	( 1 ) 0.7	( 1 ) 0.7	127
人数合計	(221)	(56)	(6)	(36)	(18)	330
全平均	62.6	16.8	2.7	16.4	3.5	

就業者について職種別の内訳をみると、全体の62.6%の者が看護職についている。次いで保健婦が16.7%、養護教諭が16.4%とほぼ同率を占めている。看護婦が6割強を占めているが、約4割の者が他の職種に動いていることはみのがせない事実であろう。さらに年代別にみると、40才位までは、年代が進むにつれて看護婦の就業率が徐々に減少しているが、養護教諭は逆に増加の傾向を示している。保健婦については著しい年代の変化はみられない。

41才以上に限ってみると、看護職が64.3%と増加しているが、これは看護婦に再就職し易い為と思われる。

(3) 最近10年間に於ける信大就職者の卒業後3年間の動向

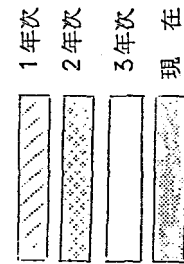
表3及び図表3を参照

表3 (48.9.20 現在)

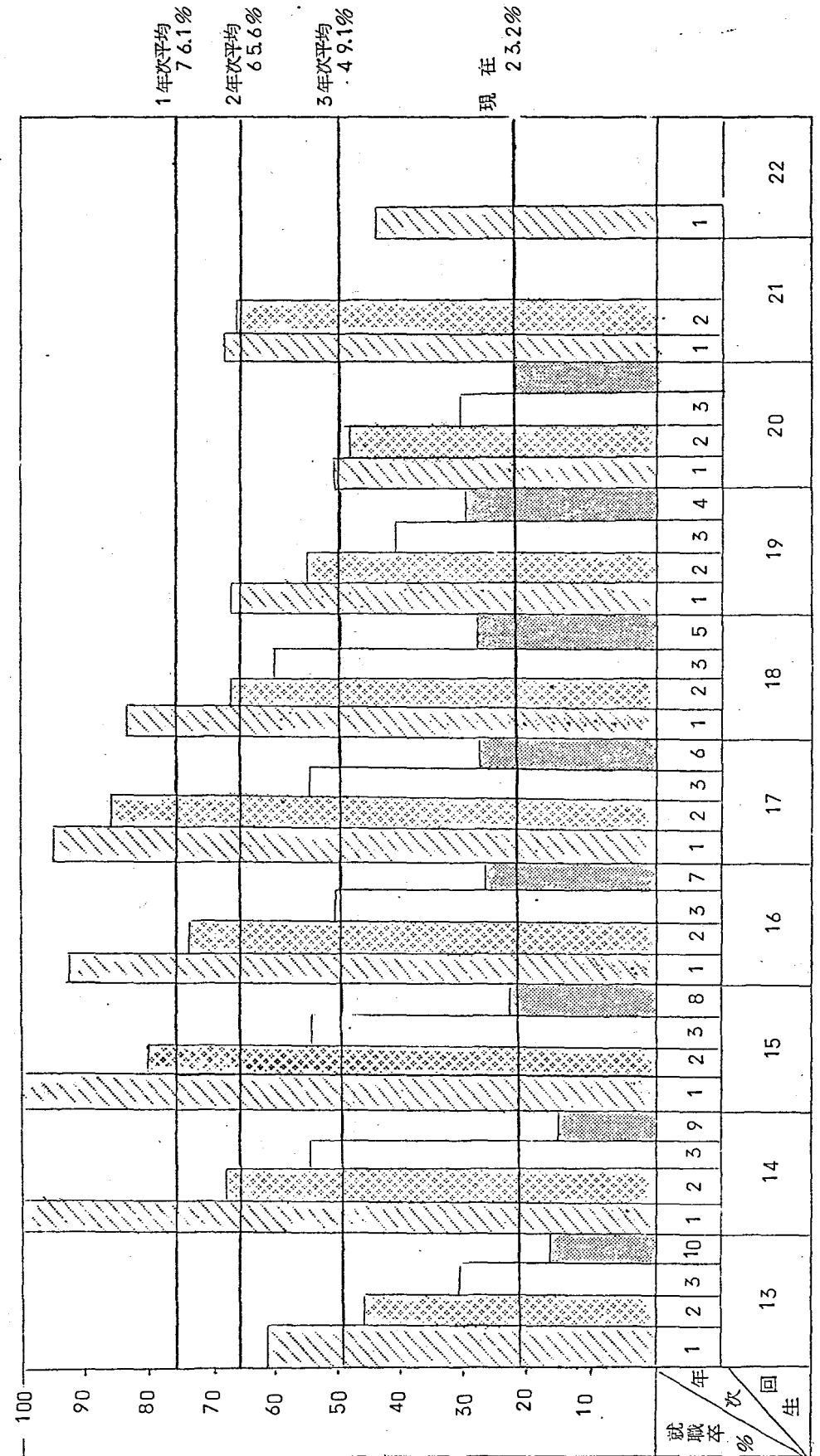
回生別	卒業年数	1年次	2年次	3年次	現在
13	20	(12) 60	(9) 45	(6) 30	(3) 15
14	28	(28) 100	(19) 67.8	(16) 57.1	(4) 14.3
15	31	(31) 100	(25) 80.6	(20) 64.5	(7) 22.2
16	27	(25) 92.6	(20) 74.1	(14) 51.9	(7) 25.9
17	29	(27) 93.1	(25) 86.2	(16) 55.2	(8) 27.6
18	36	(30) 83.3	(24) 66.7	(22) 61.1	(10) 27.8
19	27	(18) 66.7	(15) 55.6	(11) 40.7	(8) 29.6
20	31	(16) 51.6	(15) 48.4	(10) 32.3	(10) 32.3
21	35	(24) 69	(23) 65.7		(23) 65.7
22	38	(17) 45			(17) 45
総平均		76.1%	65.6%	49.1%	23.2%

14回生~17回生まで1年次が100%であるのは、義務年限があった為である。但し16回生の1人は自宅療養の為、17回生の2人は信大助産婦学校進学と家庭の都合による特殊事情で除かれている。1年次の平均は76.1%、2年次の平均は65.6%、3年次は49.1%と年々減少の傾向がみられるが3年を過ぎると23%の者が定着している。

最近10年間に於ける信大就職者の卒業後3年間の動向



図表3



(4) 卒業後3年間の進学状況 一表4及び図表4を参照 一

表4 (48.9.20現在)

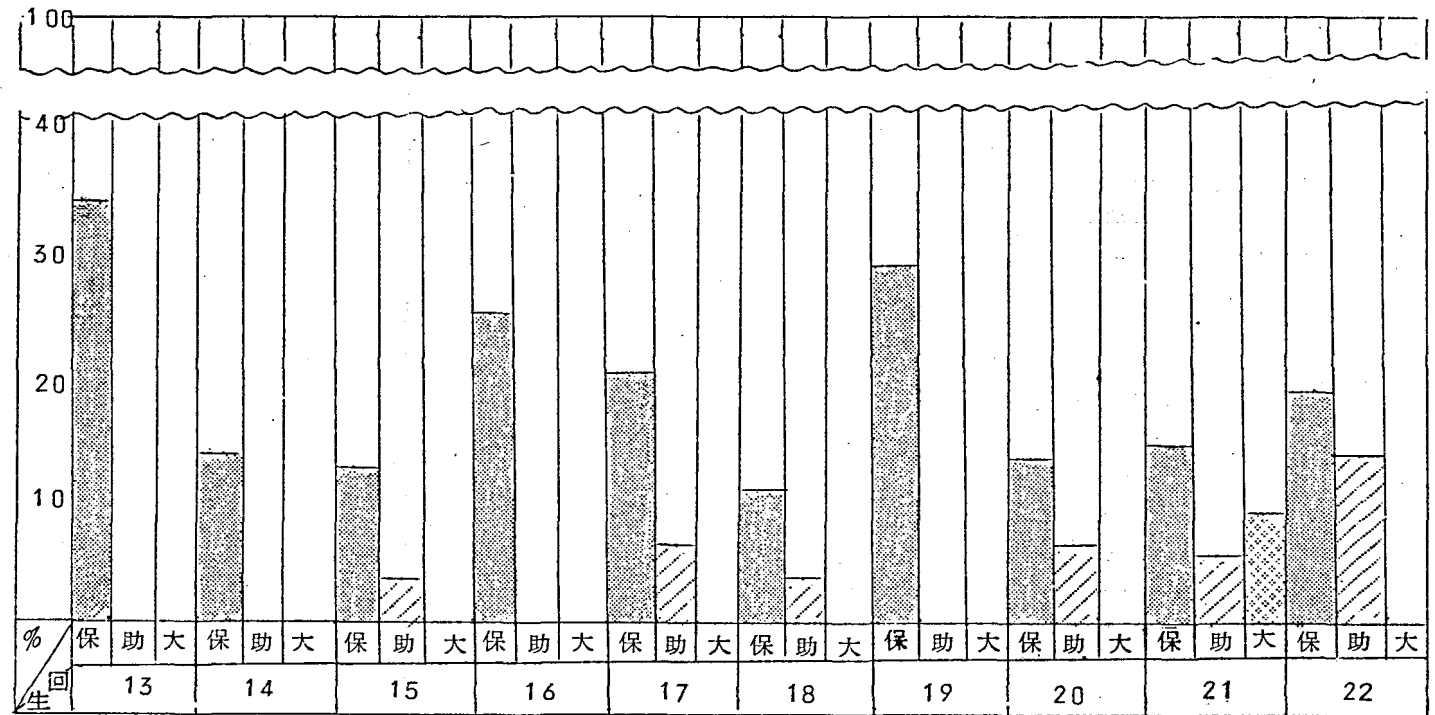
( )=人数 %

卒業回数	進学別 卒業数	保健婦 学校	助産婦 学校	大学 編入者	進学 総合計
13	20	(7) 35.0	/	/	35
14	28	(4) 14.3	/	/	14.3
15	31	(4) 12.9	(1) 3.2	/	16.1
16	27	(7) 25.9	/	/	25.9
17	29	(6) 20.7	(2) 6.9	/	27.6
18	36	(4) 11.1	(1) 2.8	/	13.9
19	27	(8) 29.6	/	/	29.6
20	31	(4) 12.9	(2) 6.5	/	19.4
21	35	(6) 17.1	(1) 2.8	(3) 8.6	28.5
22	38	(7) 18.4	(5) 13.1	/	31.5

平均 24.3%

卒業後3年間の進学状況

図表4



卒業後10年間の進学率をみると平均24.3%である。41年頃より助産婦学校への進学も出はじめ、近年は大学の養護教員養成課程への編入者も出てきた。



#### IV 考察

1. 年代別就業状況の分析より 年代別に多少の差はみられるが全体の6割の者が就業している事実を知り、卒業生の活躍を心強く感じた。尙卒業後8年位は勤続可能という事も伺え、これより若い世代に期待するところが大きいと思う。
2. 職種別就業状況より 看護婦が6割強を占めているが約4割の者が他に動いているということは、家庭との両立の困難さに合せ、年令が進むにつれて夜勤をする負担の容易なさを裏づけているのであろうか。
3. 信大就職者の卒業後3年間の動向より 変動の大きい最近10年間の中において、約2割強の者が定着していることは貴重である。
4. 卒業後3年間の進学状況より 今後は、保健婦学校進学のみでなく、助産婦学校、大学への編入者が増加の傾向にあると思われる。
5. 信州大学医学部附属看護学校の沿革は、昭和4年4月に開設され、それ以来17回にわたり卒業生を送り出した松本市立病院附属看護婦講習所に始まり、昭和24年制定の保助看法に基づいて信州大学医学部附属甲種看護婦養成所が設置され、その後26年に信州大学医学部附属看護学校と改称されて現在に至りました。その間、校舎は市立病院に始まり、兵舎のあと、その後大学キャンパス内の東北に位置するプレハブ校舎を経て現在の近代建築によりやく落ち着いた。教育内容も、昭和42年11月の指定規則の改正に基づき新教育課程が実施されて大きな変革をみました。看護教育の歴史が複雑の如く、当校も僅少の予算で種々問題のある教育ではあったが、この間に卒業生は約760名に達し、長野県はもとより広く全国にわたって医療社会の重要な成員として大きな役割を果たしてまいりました。

#### V おわりに

限られた資料で十分な結果とはいえませんが何等かの参考になれば幸と存じます。尙以上の資料をもとに更に調査を進め、看護学校の経緯を小冊子にまとめおとどけする予定であります。

資料収集に際し清報を提供下さった方々にお礼申し上げます。

参考文献 創立当初からの諸綴

信州大学医学部25年史